

別記

# スト情報

第十七報 九月十三日午後七時 争議本部書記局

ゼネスト九日、争議は今や白熱化して未だ市長局長制れり、一万余の全労働者餓死するの正に勝敗の分岐点にある、我々が去る五日以来ゼネストを決行し正々堂々の陣を布き、余れざる裁判の下に以て動かし未だ、其の堂々たる行動と裁判は正に吾人の驚異する如きものたる、然し未だ我々の今日迄の行動はスト決行の劃期的な英雄的行動を除いては、多くは消極的を陳情運動に終始し市民宣傳に對するビラ撒布の如きさへ、應援団に奉ずる言お様も情態であり又階級制の以て考慮して行動して来たり、だが今回のストは之を以て日本全体、資本家と労働者との決定的な斗争とせしめられ、何故ぞストは原因なる全賃解雇と共進的、革命的賃銀の引下げによる労働者の切り換へ採用は刷れんとする資本主義の正に死産の道であり労働者に与つては餓死の必要せらるやある、我々のストに對しては全国の労働者農民階級生活者が奮起すると同様、当局に對しては全国の資本家が又全力を挙げて應援してゐる事は明らかだ、従つてこのストは我々の敗北となるは全労働者の敗北となり凱歌を挙げた資本家は同一的を暴圧を全労働者に對して下すであらう。

斯くて今度の我々のストは自己の生命も維持するやありも果て日本の全労働者階級生活者全体の死志の向標とし、極めて重要であり死を賭しては勝たねばならぬのだ、其の爲めには消極的技術より積極的技術に振り、全労働団員と家族と又應援団体との協力により、決して憚りなき示さねばならぬ、全労働者の集し統一し積極的に行動する事とすつて、以て我等の勝利は期し得る水である、而るも方法としてはいささか不十分にして積極的斗争を開始する事、市長局長を其他市首魁者に對して大衆的示威により致深せしめる事、市議選戰の整理案